

# 「いじめ」のない学校と社会を

## ～「いじめ」から子どもの命を守るために～

釧路市内の中学校でも、いじめを受け不登校になり、その後市外に転校するという重大な事案が発生しました。それを受け、日本共産党釧路市議団は、4月24日岡部教育長に党の「いじめ」に対する提言を渡し、今後のいじめ対策について要請しました。

### 「いじめ」対応の基本原則を提言



日本共産党の5項目からなる提案について、教育長はほとんどがその通りだと思いと共感。ただ、今回、「保護者へのお知らせ」が部活動関係者であり、一部、疑問も残りま

す。現在、第三者委員会が当事者や学校、教育委員会からの聞き取りなど調査を続けています。今後、その最終報告書の公表を受けて、議員団として対応します。

### 日本共産党（私たち）の提案骨子

- ①命優先…「いじめ」対応はぜったいに後回しにしない
- ②情報…すぐに全教職員・保護者に知らせ連携する
- ③家族…被害者・家族の知る権利を尊重する
- ④子ども…「いじめ」を止める人間関係をつくる
- ⑤対応…安全確保と「いじめ」がなくなるまで対応

### 「いじめ」重大事態の経過と対応を聞き取り

その上で、今回の事案について説明がありました。2022年8～12月にかけて、部活動の上級生からいじめを受け、12月からは不登校になりました。2023年1月保護者が市教委に部活動での出来事に対して相談。市教委は4月、いじめで30日以上欠席した場合に該当となる「第2号事案」に認定。7月に当該生徒は市外に転居したことから、転校を余儀なくされ程度に精神的に追い込まれた場合に該当となる「第1号事案」として認定をしておきました。また学校と市教委による調査から切り離し、第三者委員会に調査を委ねることになりました。第三者委員会は、弁護士や学識経験者からなり、市からは独立しています。そのため、教育長や市教委も調査対象となっています。第三者委員会の最終報告がいつになるのかはわかっていません。教育長も「自身に忖度することなくありのままの事実を第三者委員会に話してほしい」と現場に要請しているそうですが、保護者が訴えている自殺未遂については、「第三者委員会が調査中」を理由に、詳細は語られませんでした。

市民が主人公 **釧路市議団だより** 号外 2024年 5月12日  
発行：日本共産党議員団 <http://jcpksigi.com/>  
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

このチラシは政務活動費で作成しています。